

令和5年8月25日

# 日立理科クラブ通信



日立理科クラブ

No.203

## 日立理科クラブ活用研修会 小学校

8月1日(火)、教育プラザで行われた日立理科クラブ活用研修会の午前の部(小学校)を紹介します。

この研修会は、日立市教育委員会主催の研修会で、市内全小学校から先生方が参加しました。教育委員会多田指導課長からは、「理科クラブの取り組みは全国的にも珍しい。今日の研修を2学期からの授業のスキルアップに活用して欲しい」、瀧澤代表理事からは、「実物を通して学ぶことが少なくなっている。STEAM教育の推進に役立てて欲しい」とあいさつがありました。

倉橋指導主事からは、研修会のガイダンスに続いて、単元の導入場面で活用する、発展的な学習内容など実験器具製作の支援を支援いただく、キャリア学習につながる体験的な講話をいただくなど指導段階における様々な活用の工夫について説明がありました。

これに続いて、水木小学校の川崎潤先生が担任、参加者が児童となつて、授業支援の模擬授業が行われました。授業支援グループは3つのブースを準備しました。①電磁石の基礎(電磁石の性質と電磁石の強さ)、②電磁石の応用製品(1)(スピーカーとマイクロフォン)、③電磁石の応用製品(2)(モーターとブレーカー)。これらを、先生方は移動しながら体験し、電磁石についての理解を深めていきました。

参加した先生方からは、

- ・体験を通して子どもたちは興味を持って学習するだろうと思った。
- ・今日のような体験は授業後のまとめや発展として位置づけると効果的だと思う。
- ・そもそも永久磁石はどうやって作るのだろう。

などと、感想や質問が出されました。各学校の授業進度はほぼ同じなので希望する時期が重なってきます。理科クラブでは、導入での活用やまとめの活用など時期をずらして欲しい、と述べていました。

次に、フロアいっぱいになべられた教材の説明を受けました。

参加した先生方は、理科クラブが研究し、開発した様々な教材に実際に触れ、楽しみながら説明を聞くとともに、2学期以降の授業に生かす検討をしているようでした。

最後に、班ごとに理科授業に関する悩みや、理科クラブの活用に関する情報交換を行いました。これには、理科クラブのメンバーも参加し、先生方の困り感を共有することができました。

- ・授業の準備や予備実験の時間を確保することが難しい。理科室のおじさんとの打ち合わせの時間もなかなかとれない。
- ・キャベツ、アオムシ、ホウセンカなど、必要な時期に生き物を確保するのが難しい。特に、学年はじめに使うものは引き継ぎがうまくいっていないと授業に支障が起こることがある。ホウセンカがないときに、理科室のおじさんのネットワークを利用して便宜を図っていただいたことがあった。

先生方は大変忙しい日々を過ごしていることがわかりました。その中でも、児童生徒が楽しいと思えるよう工夫されています。一人で悩まずに、理科クラブの授業支援や、理科室のおじさんを今後とも活用して欲しいと思います。



多田指導課長



代表理事と倉橋指導主事



電磁石の強さを体験



電磁石を利用した製品を体験



様々な教材を体験



4年  
ものの  
あたま  
まり方



小グループで熱心な協議